



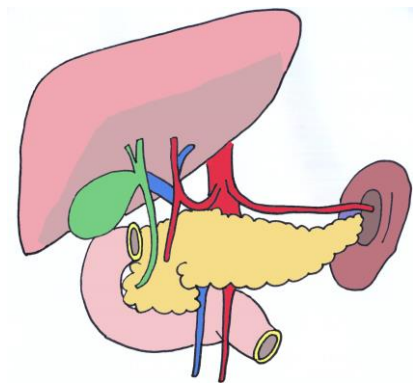
トヨタ記念病院から
地域の先生方へ

VOL.
05

NEWS LETTER

肝胆膵 特集

内科と外科の連携で早期介入を進めます
肝胆膵診療に関してお気軽にご相談ください



当院の消化器内科・消化器外科では、直腸がんや胃がんといった消化管診療だけでなく、肝胆膵診療にも力を入れています。消化器内科においては超音波内視鏡（EUS）の体制を拡充し、膵嚢胞の評価とその後の治療へスムーズにつなぎます。消化器外科では胆嚢摘出術を中心に、肝臓・膵臓領域でも腹腔鏡の導入を進めています。肝がんに関しては外科においても2021年から地域連携パスの運用を開始しました。今後も、地域の患者さまが住み慣れた場所で質の高い医療を受けられるよう努めてまいります。

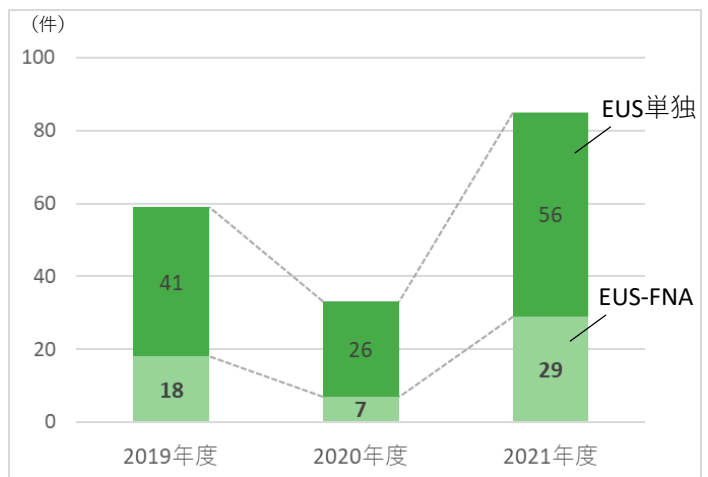
膵臓 / 超音波内視鏡検査の体制拡充 膵嚢胞は一度ご紹介ください

膵腫瘍が疑われる場面では、CTやMRIは必須ですが、これらの画像検査では指摘できないより小さな膵がんの発見に有用なのが**超音波内視鏡検査（EUS）**です。EUSおよび超音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA）により組織診断が可能です。

当院では従来からEUSおよびEUS-FNAを実施してきましたが、2020年7月、胆膵診療における豊富な実績を持つ芳川医師が消化器内科に加わったことにより、これらの検査をさらにスムーズに実施できる体制が整いました。

健診などで**膵嚢胞**を指摘されるケースがしばしばあります。膵嚢胞を持つ人が膵がんになるリスクは22.5倍との報告※もあることから、膵嚢胞を認めた患者さまには定期的な画像検査が必要です。健診要精査例や、腹部エコーで異常を認めた場合などは、ぜひご紹介ください。

※Tada M et al. Clin Gastroenterol Hepatol 2006;4:1265-70.



当院におけるEUSの実績

消化器内科 医長
芳川昌功
Masakatsu YOSHIKAWA

主な専門領域／胆道、膵臓
免許取得／2010年
日本内科学会 認定内科医
日本消化器病学会 消化器病専門医
日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医

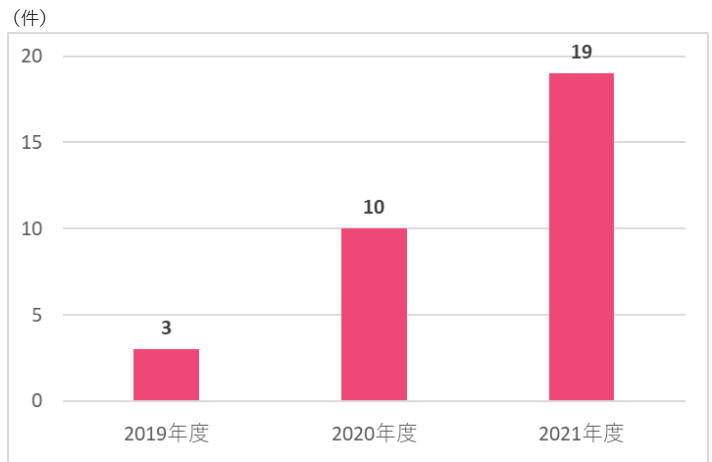


肝臓・胆嚢 / 腹腔鏡肝切除術を拡大 診断から治療までシームレスな医療

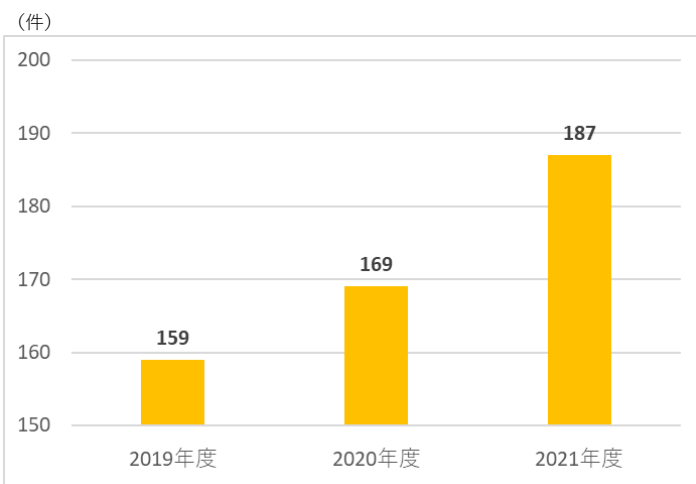
肝胆膵領域の外科治療では、患者さまの負担の少ない**腹腔鏡手術**を積極的に実施しています。中でも肝切除術に関しては、着実に実績を伸ばしています。

肝がんの原疾患としては、B型・C型肝炎のほか、近年、非アルコール性脂肪肝炎（NASH）から肝硬変を経て肝がんに至るケースが増えています。また大腸がんなどの肝転移例も多く診療しています。

2021年から外科においても**肝がん地域連携パス**を導入しました。まだ実績は少ないものの、地域で支えていく体制を整えてまいります。



当院における腹腔鏡下肝切除術の実績



当院における腹腔鏡下胆管・胆嚢手術の実績

胆嚢領域においても、腹腔鏡下胆管切開胆石摘出術および胆嚢摘出術を多数実施しています。胆管がんは部位によって手術の難易度が異なり、大学病院へ紹介させていただくこともあります。

肝胆膵を通じて、定期的に**内科と外科の合同カンファレンス**を実施しているほか、症例によって腫瘍内科や放射線治療の専門医に積極的にコンサルトし、個々の症例に合った最適な治療の提供を目指しています。

日ごろは病診連携にご協力いただき、深く御礼を申し上げます。微力ではございますが、地域の皆さまのお役に立てるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



消化器外科 科部長
越智 靖夫 Nobuo OCHI

主な専門領域 / 肝胆膵
免許取得 / 1997年

日本外科学会 外科専門医
日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医
日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医
日本膵臓学会 認定指導医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本肝胆膵外科学会 評議員

【このニュースレターに関するお問合せ先】

電子メールでの配信も行っております。ご希望の際は下記までお申しつけくださいませ。



トヨタ記念病院

患者支援センター 地域医療連携グループ

豊田市平和町1丁目1番地 / 0565-74-3091 / ya-renkei@mail.toyota.co.jp

発行月：2022年10月